

## 「JPタワー名古屋」が完成、竣工を披露 ～住友理工 グローバル本社を新設、来年1月から業務を開始～

住友理工株式会社（本社：愛知県小牧市、代表取締役社長兼 COO：松井徹）は、名古屋市中心部にグローバル本社を新設し、来年1月から業務を開始します。これに先立ち、入居予定先の「JPタワー名古屋」（名古屋市中村区名駅一丁目）が11日（水）に完成し、関係者を招いた竣工披露パーティーが開催されましたので、お知らせいたします。



鏡開きで門出を祝う会長兼 CEO 西村（左から4人目）



JPタワー名古屋

JPタワー名古屋は、低層階に商業施設が、高層階にオフィスが入居する複合ビルとして、日本郵便株式会社と名工建設株式会社が共同建設しました。2027年にリニア中央新幹線が東京―名古屋間で開業するのを見越し、JPタワー名古屋をはじめとする超高層オフィスビルが相次いで進出するなど、名駅地区は中部地方の玄関口として再開発が進められています。

当社は現在、23カ国103拠点で事業を展開しており、当社グループの従業員数は約2万4,000人に上ります。グローバルで効率的に事業を遂行するためには経営管理の高度化は不可欠であり、このたび、世界各国の拠点を統括するグローバル本社を設立することとしました。グローバル本社機能を都心部に移し、強化することにより、従業員の意識改革およびグローバルに活躍できる人材の確保と育成を図ります。

竣工披露パーティーには、関係者ら約350名が出席。日本郵便の高橋亨・代表取締役社長が「名古屋市の交通結節点として魅力と活力あふれる街づくりを目指し、開発してきた。人と人、地域と地域をつなぎ、名駅エリアのにぎわいを創出していく」と挨拶しました。当社の代表取締役 取締役会長兼 CEO 西村義明も鏡開きに臨み、JPタワー名古屋を中心とする名駅地区の活性化を祈念しました。

当社はこのグローバル本社を軸に、世界中のお客様から信頼される“Global Excellent Manufacturing Company”への変革を目指してまいります。

以上